

☆定 格☆

●カソード 発熱型	
ヒータ電圧	6.3V
ヒータ電流	300mA
●電極面静電容量	
第1グリッドと他電極間	6.7pF
カソードと他電極間	3.9pF
X偏向板間	2.0pF
Y偏向板間	1.5pF
X+偏向板と他電極間	3.0pF
X-偏向板と他電極間	3.0pF
Y+偏向板と他電極間	2.8pF
Y-偏向板と他電極間	2.8pF

●ヘリカル後段加速電極抵抗 200~1,000MΩ

●けい光面 フラットフェース、メタルバック
けい光色 青緑色
残光性 低い●集束および偏向
集束方式 静電集束
偏向方式 静電対称偏向●口金配列
偏向電極Y+, Y-で画かれる軌跡と、口金ピン #1 と管軸を含む平面との角度……±10°
X-偏向電極に対して正電圧をX+偏向電極に加えると輝点はピン #12 の方に偏向される。
Y-偏向電極に対して正電圧をY+偏向電極に加えると輝点はピン #1 の方向に偏向される。
X+, X-偏向電極と、Y+Y-偏向電極によって画かれる軌跡の間の角度……90°±1.5°
偏向電極X+, X-で画かれる軌跡と、第3陽極端子と管軸を含む平面との角度……±10°

●代表的動作例	
第3陽極電圧	10kV
第2陽極電圧	1,670V
偏向電極間シールド電圧 ¹⁾	1,500~1,830V
偏向補正電圧 ²⁾	1,500~1,830V
第1陽極電圧	180~590V
輝点消去電圧	-50~-80V
偏 向 率	
X軸偏向率	27.8~33.4Vdc/cm
Y軸偏向率	5.7~7.2Vdc/cm

●最大定格(設計中心値)	
第3陽極電圧	最大 12kV 最小 6kV
けい光面損失	最大 3mW/cm ²
第2陽極電圧	最大 2,100V
第2陽極損失	最大 6W
偏向電極間シールド電圧	最大 2,200V
偏向補正電圧	最大 2,100V
第3陽極電圧と第2陽極電圧の比	最大 6
第1陽極電圧	最大 1,500V
第1グリッド電圧	
負バイアス電圧	最大 200V
正バイアス電圧	最大 0V
正電圧尖頭値	最大 2V
ヒータ・カソード間電圧	
ヒータに対しカソード正の場合	最大 200V
ヒータに対しカソード負の場合	最大 125V
偏向電極と第2陽極間電圧尖頭値	最大 500V

●機器設計資料	
第1陽極電圧	$E_{b1} \times (11 \sim 35.5) \% V$
偏向電極間シールド電圧	$E_{b2} \times (90 \sim 110) \% V$
偏向補正電圧	$E_{b2} \times (95 \sim 105) \% V$

輝点消去電圧 $-E_{b2} \times (3.0 \sim 4.4) \% V$ 第1陽極電流 $-50 \sim +10 \mu A$ 偏向率 ($E_{b1} = 6E_{b2}$ の場合)X軸偏向率 $(16.7 \sim 20) \times 10^{-3} Vdc/cm E_{b2}$ Y軸偏向率 $(3.4 \sim 4.6) \times 10^{-3} Vdc/cm E_{b2}$ 有効域 ($E_{b1} = 6E_{b2}$ の場合)

X 軸 方 向 100mm以上

Y 軸 方 向 40mm以上

輝点位置 10mm以内

パターン画³⁾

●最大回路定数

第1グリッド回路抵抗 最大 1.5MΩ

偏向電極抵抗 最大 5.0MΩ

註1) この電圧を調整することにより規定の範囲内でラスト歪を最小にすることができる。

2) この電圧を調整することにより規定の範囲内で偏向のリニアリティを調整することができる。

3) パターン画は次の2つの矩形の辺の間にある。
102×41mm 98×39mm

6石トランジスタポータブル

T-53 型

本機はポケットサイズの小型ポータブルとして、広い需要層を対象に企画したもので、新感覚のデザイン、小型とは思えない高感度と音質は、トランジスタポータブルとしての十二分の機能を発揮。



☆特 徴☆

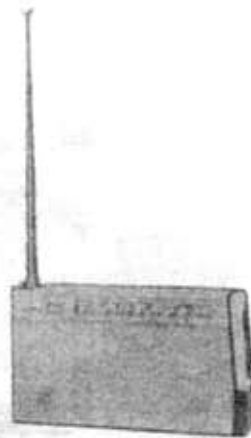
- 1) 胸のポケットにも入る小型であるから携帯に便利。
- 2) 高周波および中間周波回路にはドリフト型トランジスタを採用し大型のフェライトアンテナと相まって大型ポータブル並の感度を有している。
- 3) 新開発の5.5cm スピーカにより音域、音質とも良好。
- 4) 横行変動ダイヤルにより、選局が容易。
- 5) 操作つまみを1個所にまとめた操作の容易なワンハンド・コントロール方式。
- 6) イヤホン端子付。

☆定 格☆

●受信周波数	540~1,600kc
●中間周波数	455kc
●トランジスタ	2SA102 周波数変換 2SA102 第1中間周波増幅 2SA101 第2中間周波増幅 2SB171 低周波増幅 2SB172 出力増幅 2SB172 (プッシュプル)
●ダイオード	OA70 検波兼 AGC
●感 度	200 μ V/m/5mW
●出 力	無歪 125mW, 最大 200mW
●電 源	9V (トランジスタ用乾電池 006P)
●スピーカ	5.5cm PM ダイナミックスピーカ
●形 状	64×92×28.5(mm)
●重 量	190g (電池比)

2バンド7石トランジスタポータブル
ラジオ T-44型

本機は、すでに T-46, T-47, T-94 などに取り付けて好評を博しているファインコントロール(微同調調整器)を設けた小型2バンドポータブルラジオで、デザインのにも一段と新しさを感込んだニュータイプである。



☆特 徴☆

- 1) ファインチューニング(微同調調整器)により短波放送の選局も容易。
- 2) 低電圧(4.5V)で動作する経済的な2バンド。
- 3) 周波数特性の優れたドリフト型トランジスタやビルトイン(内蔵)式のロッドアンテナにより短波放送も高感度で受信。
- 4) 独特の電池取換方式の採用。
- 5) イヤホン端子付。

☆定 格☆

●受信周波数	MW 540~1,600kc SW 3.9~12Mc
●トランジスタ	2SA103 周波数変換 2SA101 第1中間周波増幅 2SA101 第2中間周波増幅 2SB173 第1低周波増幅 2SB175 第2低周波増幅 2SB172 出力増幅(プッシュ) 2SB172
●ダイオード	OA70 発振補償 OA70 検波兼 AGC MA23 自動動作補償
●感 度	MW 100 μ V/m/5mW SW 100 μ V/m/5mW
●出 力	無負 120mW 最大 200mW
●電 源	4.5V(トランジスタ用乾電池 UM-33個)
●スピーカ	6cm PM ダイアミックススピーカ
●形 状	146×83×33(mm)
●重 量	430g(電池共)

27Mc(市民ラジオ)トランシーバ
T-1型

トランシーバ(送受信機)の中、誰もが手軽に使用できる簡易な27Mc帯の送受信機のことを特に市民ラジオとよんでいる。

この市民ラジオは、災害時に於ける一般市民の無線通信連絡の必要性から、一昨年アメリカで初めて許可されたものであるが、現在ではリクレーションや日常業務に大いに活用されている。

我国でも今年の10月に27Mc帯が市民ラジオ用バンド

として一般に開放され、我々ではその一弾としてトランシーバT-1型を発売した。

このT-1型には27.040, 27.080, 27.122, 27.144Mcの4つの周波数があり、通信距離は市街地で約1km, 郊外で約4km, 海上で約30kmであるが、障害物があると大巾に短くなる。



☆特 徴☆

- 1) 送受信とも高周波部分には、アロイディフュージョン型(合金拡散型)トランジスタの採用、長いロッドアンテナ(1.2m)の採用などにより高感度でしかも安定した動作。
- 2) 回路面での工夫と新開発のスピーカの採用で、脱信がなく、雑音も少なく、音量も豊富。
- 3) AGC回路により、近距離でも遠距離でも音が歪まず、広範囲にわたって、ほぼ一定した音量で通話ができる。
- 4) 送信、受信とも水晶制御方式であるから、操作が極めて簡単、ボタンを押すだけで送受が切り替わる。
- 5) 小型で、しかもキャビネットは皮ケースになっているから、鞆中で軽く携帯に便利。
- 6) 騒音の多いところではイヤホンでもきける端子付。

☆定 格☆

(1) 送信部	
●変調方式	コンタ変調方式
●回路方式	水晶制御発振一終段増幅方式
●空中線入力	100mW
(2) 受信部	
●回路方式	水晶制御スーパーヘテロダイン方式
●周波数	27.040, 27.080, 27.122, 27.144Mc の中1波
●受信出力	最大 180mW 無負 100mW
●受信感度	最大 1.5 μ V/5mW S/N 10dB 2 μ V/5mW
●受信選択度	± 3 kc (-6dB) ± 9.5 kc (-20dB)
●使用トランジスタ	2SA70 送信用 発振 2SA279 + 終段増幅 2SA70 受信用 局部発振 2SA70 + 周波数混合 2SA101 + 第1中間周波増幅 2SA101 + 第2中間周波増幅 2SB171 低周波増幅 2SB172 低周波出力増幅兼変調 2SB172
●ダイオード	OA90 受信用検波兼 AGC MA23 自動動作補償
●スピーカ	6cm